

秋桜



鳥取県立倉吉東高等学校
人権教育推進委員会だより
第2号 2015年10月1日発行

原点に立ち返って 部落問題を学びました ～育友会人権教育講演会が行われました～

9月15日（火）夕方、人権教育講演会が85名の参加で開催されました。鳥取環境大学環境学部環境学科の外川正明先生を講師にお迎えし、私達にとって人権問題の原点ともいえる「部落問題」について、最新の研究や新たな視点をふまえ、熱い講演を頂きました。講演の概要と、参加された保護者の方の感想を紹介します。部落問題を通して「人権」とは何か、今一度考える機会にしてみたいかがでしようか。

演題 「部落史に学ぶ ～新たな見方・考え方にたった学習のあり方」

講師 鳥取環境大学環境学部環境学科 外川正明 氏

【講演内容】

1. 先生と部落問題との出会い

先生は京都生まれ、京都有ち。

「竹田の子守唄」に唄われた被差別部落のある小学校に勤務され、そこで出会った子どもたちとの出会いにはじまる。

その後、京都市教育委員会を経て、京都教育大学で大学生に部落問題を教えるなかで、「部落問題を知らない」「部落史を正しく認識していない」学生の増加に驚愕した。

加えて、「部落史の見直し」が進展し、保護者世代が学んだ被差別部落の起源が江戸時代ではなく、中世にまでさかのぼることが明らかとなり、学校の教員が教えるためのテキスト作りに取り組んだ。

2. 新たな部落史学習の視点に立って

・「部落史を学ぶ」ではなく「部落史に学ぶ」ことが求められる。

⇒中世から江戸時代にかけて、「排除の差別」により差別されていたが、現在の「いじめ」も同様のことである。歴史を学ぶことで、自らの生き方あり方を振りかえる学習でなくてはならない。

・「なぜ差別されてきたか」ではなく「なぜ差別してきたか」を考えていく必要がある。

・歴史を学ぶうえで、支配者側の視点ではなく、民衆側の視点をもってみる必要がある。

3. 印象に残った先生の言葉

・江戸時代は身分差別することが強制され罰せられる時代だった。しかし、それに抵抗した人々もい

た。

・金閣寺の庭を造った庭作師の言葉(当時、庭作師は「河原者」と呼ばれ差別されていた)

「差別される側でなく差別する人の心が悲しい。」

・「知識の伝達」から「生き方を学び合う」学習を。それは・・・
「差別と闘う」ということ、「学習と生活をつなぐ」ということ、
「人との出会いを通して学ぶ」ということ

～人権推進委員からヒトコト～

今の生徒たちが使用している日本史の教科書を見てみませんか。そして、生徒たちの考えを聞いてみたいと思います。私たち保護者世代も変化する学習に伴って、学んでいかなければと考えています。



参加者の感想

■「部落差別を見つめ直す良い機会に」

今まで自分自身が小学校から学んできた部落問題について改めて見つめ直すよいきっかけとなりました。これを期に、部落差別、人権について普段から思っていることを家族、地域、職場において話し合い、前向きな取り組みができればと思います。また多くの保護者がこのような会に参加することにより世の中の偏見・差別も減ってくるのではないかと思います。

■「目からウロコでした」

部落差別の起こりを、私も私の子どもたちも完璧に誤解していることがショックでした。すぐにも子どもにこの事実を伝えたい思うと同時に、部落史の見直しに伴い、古い誤った知識を持ったまま差別を助長していることがあることに対し、早急に学習の場を提供していただきたいです。部落差別を勉強することは、人としての在り方を問うことだと改めて思いました。

■「親が知ろうとすれば、子どもに正しく伝えられる」

とても分かりやすいお話でした。私たちが習ってきた歴史の中にも間違ったことがたくさんあることがよく分かりました。今わかってきたことに加え、今後も更に分かっていくことがあると思います。研修を重ねることが大事ですね。もっとたくさんの人に聞いてほしいお話でした。

アンケートの結果

Q：人権教育についての考えを深める講演でしたか？ 【回答者54人】



アンケートからも、とても有意義な講演会だったことがうかがえます。確かに一昔前に比べると沈静化したともいえる部落差別ですが、根絶の道は険しいようです。これを私達ひとりひとりの問題としてとらえ、次世代を担うお子様とともに話し合ってみられてはいかがでしようか。

人権教育推進委員会では、次年度もこのような講演会を計画したいと思っています。是非聞いてみたい内容や取り上げて欲しい事柄がありましたら教えてください。

公開人権教育LHRに行こう！ ～生徒自身が作る・学ぶ 人権教育～

いよいよ公開人権教育LHRが10月7日(水)に迫ってきました。学年ごとにテーマを設定し、現在人権LHR委員を中心に意見を出し合いながら授業内容を練っているところです。

今回はそんな生徒たちに、今回の公開人権教育LHRの意気込みを語ってもらいました。

1年 テーマ 「人権とは何か」～身近な差別について考える～



今回の公開人権教育LHRでは「人権とは何か」という問いを通して各クラスが差別や人権についての理解を深めます。私たちが、自分たちで作り上げる授業を保護者の皆様もぜひ見に来てください。

「人はどうして生きるのか？」私たちが成長し必ず立ち向かう、もはや普遍ともいえるべきこの問いに、皆さんはどう答えるでしょうか？人権教育LHRは、私たち高校生がこの問いに対し「人権」という観点から「よりよく生きる」方法を探ることで向き合う、そんな時間です。多くの方のご参加をお待ちしています。



2年 テーマ 「在日コリアンに対する差別と人権」

2年生は在日コリアンへの差別を取り上げ、難しい問題でありながら皆が向き合い今回のLHRに繋がる話し合いをしてきました。韓国研修に向け更に理解が深まるよう委員として責任をもって頑張ります。日韓間の問題は保護者の方にも考えて欲しい重要な課題だと思います。是非この機会に生徒と一緒に考えてください。



委員をしていて一番苦労することは、自分たち委員が事前に学習して調べたことをわかりやすくクラスの人に伝えることです。自分はわかっているけど他の人に伝わらないと深く理解できないことが多くあるので、今回はいかにわかりやすく伝えるか工夫するので、是非来てください。

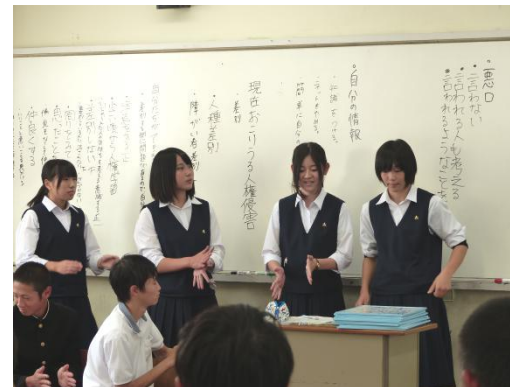


【昨年の様子】

3年 テーマ 「結婚差別と人権問題」



僕は初めて人権LHR委員になりました。そして気づいたことは、他の生徒と違う視点で物事を考えたり、より深く人権問題について考えるようになったりしたことです。是非そういったところに注目して人権教育LHRに来てください。保護者の方の多くの参加をお待ちしています。



【昨年の様子】

3年生の人権教育LHRでは実際に社会に出た時に私たちが直面する差別について扱っています。今回は結婚についてですが、結婚について深く考えたことがない、したくないという人もいますので、結婚するとはどういうことか考えていきます。事前アンケートなどで保護者の方の考えもお聞きしたいので、ご協力よろしくお願いします。



昨年参加された保護者の感想

- 生徒が司会進行をしていたのが印象的。難しいテーマだったが頑張って司会する姿がよかった。子供の成長が感じられた。
- 2年生は韓国研修前にいいタイミングで学習できたと思う。
- 生徒自身が作り上げた授業を聞いてよかった。またクラスごとで創意工夫しているのでおもしろいです。



1. 公開人権教育LHR

日時：10月7日(水) 12:55～14:45(4・5限)

場所：各教室(どの学年、クラスの参観もOKです)

2. 学年懇談会もあります！

学校での子供達の様子を伺える良い機会です。こちらもご参加を！

時間：公開人権教育LHR終了後 15:00～16:00

場所：1年 ⇒ 1-2教室

2年 ⇒ 2-2教室

3年 ⇒ 3-2教室

多くの方のご参加お待ちしております！！

